

未来をつなぐ 新湾岸道路プロジェクト

第3号

2025.7

たくさんのご意見ありがとうございました

令和6年11月15日から令和7年3月11日にかけて新湾岸道路プロジェクトのコミュニケーション活動を実施し、「湾岸地域において解決すべき課題」「新湾岸道路に期待すること」「新湾岸道路について配慮すべきこと」「道路の付加機能」「計画検討の進め方」等について、アンケートやヒアリングを通じてたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

アンケートは、たくさんの方々にご協力いただき、4,331件のご意見をいただきました。

アンケートでいただいた全てのご意見は、新湾岸道路プロジェクトのポータルサイトに掲載しています。

全てのご意見
はこちら



<オープンハウスの様子>



「湾岸地域において解決すべき課題」「新湾岸道路に期待すること」「新湾岸道路について配慮すべきこと」「道路の付加機能」についてのご意見は、「ご意見の要旨」として44項目に整理し、対応案を検討しました。

分類		寄せられたご意見の要旨	対応案
交通需要	将来は不要	(1) 道路を作ることが目的になっているのは問題 (2) 整備しない場合も案に含めて欲しい (3) 将来の交通需要は減少し道路は必要ないのではないか疑問 (4) 国道357号などの混雑区間のみを整備すれば十分だと思う	・整備しない場合との比較を含め、具体的に検討していきます
	将来にも対応	(5) 将来の開発や移動需要を見据えて計画することが大切	・将来の開発や移動需要を見据えて検討していきます
移動性	一般道の渋滞	(6) 一般道(国道357号、国道14号等)の慢性的渋滞の解消に期待 (7) 渋滞に伴う移動時間が無駄	・幹線道路の渋滞緩和や特定時間帯の渋滞解消は、「達成すべき目標」の「交通渋滞」に含めて検討していきます
	特定時間帯の渋滞	(8) 通勤時間帯や休日の激しい渋滞の解消に期待	
	迂回ルート	(9) 渋滞時や災害時の迂回路が必要	・渋滞や災害時の迂回ルートへの対応については、「達成すべき目標」の「交通渋滞」及び「防災」に含めて検討していきます
信頼性・走行性	移動時間・移動速度	(10) 内陸部や南北方向の移動が困難 (11) 渋滞・信号及び右左折車により、走行性が低下し、移動時間が伸びる	・内陸部や南北方向のネットワーク整備については、概略計画決定後の事業化段階で検討していきます ・渋滞・信号及び右左折車による走行性の低下・移動時間の損失は、「達成すべき目標」の「交通渋滞」に含めて検討していきます
	歩行者・自転車の移動性	(12) 歩きやすさや自転車の走りやすさや快適性が改善されることを期待	・自転車の走りやすさや快適性の改善などの多機能空間の対応については、「達成すべき目標」の「生活環境」に関連する事項として検討していきます
アクセス性	地域アクセス	(13) 空港や東京・神奈川方面、房総方面、湾岸部の各都市等へのアクセス性が向上することを期待	・空港や都心部などの広域アクセスの向上、高速道路へのアクセスの向上は、「達成すべき目標」の「物流・産業・観光」及び「港湾・空港拠点アクセス性」に含めて検討していきます
	高速アクセス	(14) 高速道路へのアクセスの向上に期待	
ネットワーク	ルートの選択肢	(15) 移動ルートの選択肢がなく渋滞や事故の際に逃げ場がないことに不満	・渋滞や事故時の迂回ルートへの対応については、「達成すべき目標」の「交通渋滞」及び「交通事故」に含めて検討していきます
	分散	(16) 局所的な渋滞が生じないよう、交通が分散されるようになるとうい	・交通集中の分散や高速道路と一般道との機能分離は、「達成すべき目標」の「交通渋滞」に含めて検討していきます
	機能分散	(17) 高速道路と一般道との機能分離が図られるとうい	
安全性	事故の減少	(18) 事故の減少に期待	・交通事故の減少への対応は、「達成すべき目標」の「交通事故」に含めて検討していきます
	生活道路	(19) 生活道路への流入があり安全面で心配	・生活道路への流入交通の減少への対応は、「達成すべき目標」の「生活環境」に関連する事項として検討していきます
	歩行者・自転車	(20) 歩行者や自転車の安全性に不安	・歩行者や自転車の安全性の改善などへの対応は、「達成すべき目標」の「生活環境」に新たに追加して検討していきます
	交通変化	(21) 交通量が変化すると新たに危険な箇所が生じるのではないかと心配	・交通流動の変化に伴う新たな危険な箇所については、「達成すべき目標」の「生活環境」に関連する事項として検討していきます
物流	物流の円滑化・効率化	(22) 物流が円滑化・効率化されることで地域経済の発展に期待	・物流の円滑化・効率化は、「達成すべき目標」の「物流・産業・観光」に関連する事項として検討していきます
	自動物流	(23) 自動物流システムに期待	
	物流・運送交通と一般車の分離	(24) 物流交通、大型車、バスと一般車が分離されるとよい	・自動物流などの多機能空間への対応については、「達成すべき目標」の「物流・産業・観光」に関連する事項として整理した上で、概略計画決定後の事業化段階で検討していきます
環境	三番瀬等自然環境	(25) 三番瀬等自然環境や水鳥等の生息環境への影響が心配	・三番瀬や谷津干潟などの自然環境への影響については、「配慮すべきこと」の「自然環境」として検討していきます
	生活環境	(26) 生活への様々な環境への影響が心配 (27) CO ₂ 排出削減につながることに期待	・生活環境への影響や大気汚染については、「配慮すべきこと」に「居住環境」を追加し、検討していきます
	大気汚染	(28) 大気汚染が心配	
	眺望	(29) 海岸の眺望や街並みが損なわれるのではないかと懸念	・海辺の眺望などの影響については、「配慮すべきこと」の「景観」として検討していきます
	海岸とのつながり	(30) 憩いの場を与える海岸部と住宅地とのつながりは貴重	・地域と海とのつながりや憩いの場としての配慮については、「配慮すべきこと」に「居住環境」を追加し、検討していきます
地域活性化	魅力の創出	(31) 新たな観光資源や集客の拠点ができ魅力が高まることに期待	・地域経済の発展を支える産業拠点や観光拠点への利便性や企業誘致などの地域活性化については、「達成すべき目標」の「物流」に「産業・観光」を追加し、検討していきます また、地域の不動産価値の低下については、「配慮すべきこと」に「居住環境」を追加し、検討していきます
	企業誘致	(32) 企業立地や産業誘致が促進されることに期待	
	地域再生	(33) 地域再生に期待	
	不動産価値	(34) 不動産価値の低減を招くのではないかと心配	
	経済活動	(35) 都心へのアクセス向上が経済活動の生産性をもたらすと期待 (36) 地域経済の発展や地域活性化、労働生産性の向上に期待 (37) 地場産業に支障がないかと懸念	
防災	避難や物資輸送	(38) 被災時の避難や物資輸送ができるようになることに期待	・防災機能や避難場所、災害時の物資輸送手段の確保については、「達成すべき目標」の「防災」に含めて検討していきます
	防災拠点	(39) 防災拠点や避難場所、物資保管場所としての機能を期待	
医療連携	救急搬送	(40) 救急搬送の迅速化に期待	・救急搬送の迅速化や、病院へのアクセス性向上については、「達成すべき目標」の「医療連携」を「医療」に変更し、検討していきます
	病院アクセス	(41) 病院へのアクセス性が高まることに期待	
コスト	費用負担	(42) 維持管理の費用負担も含め、新たな税負担に繋がるのではないかと不安	・「配慮すべきこと」に「経済性」を追加し、経済性の観点や整備期間など多様な視点で検討していきます
整備期間	早期解決	(43) 交通問題の早期解決に期待	
考慮すべきその他の視点	新たなモビリティ	(44) 自動運転等の新たなモビリティへ対応できるのか心配	・自転車高速道路や自動運転等の新モビリティなどの多機能空間の対応については、「達成すべき目標」の関連事項として整理し、概略計画決定後の事業化段階で検討していきます

「達成すべき目標」を見直しました

アンケートやヒアリングで寄せられたご意見の要旨を分類分けし、千葉県で設定している「千葉県総合計画※」の基本理念、基本目標・目指す姿を総合的に検討し、「達成すべき目標」を設定しました。

※ 千葉県が策定した、県の政策の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画

当初設定した目標(案)

目標案	交通				社会・地域経済		
	渋滞	事故	医療連携	防災	物流	港湾アクセス	生活環境
	市内の交通混雑の緩和	高速道路への交通転換を進め交通安全性の向上	交通の円滑化による速達性や定時性の確保	災害発生時のダブルネットワーク化	産業・観光拠点などへのアクセス強化	千葉港へのアクセス強化	骨格となる道路ネットワークの形成

皆様から寄せられたご意見の要旨(課題・期待)

皆様から寄せられたご意見により、新たに加わった課題を整理しました。

	交通渋滞	交通事故	医療	防災	物流・産業・観光	港湾・空港拠点アクセス性	生活環境
ご意見の要旨	- 通勤時間帯や休日の激しい渋滞の解消に期待 - 渋滞時や災害時の迂回路が必要 - 渋滞のため移動時間が読めない - 信号や右左折車のため走行性が低下することが不満	移動ルートの選択肢がなく渋滞や事故の際に逃げ場がないことに不満	- 救急搬送の迅速化に期待 - 局所的な渋滞が生じないよう、交通が分散されるようになるとうい	- 防災拠点や避難場所、物資保管場所としての機能を期待 - 渋滞時や災害時の迂回路が必要 - 高速道路と一般道との機能分離が図られるとうい	- 空港や東京・神奈川方面、房総方面、湾岸部の各都市等へのアクセス性が向上することを期待 - 高速道路へのアクセスの向上に期待 - 新たな観光資源や集客の拠点ができ魅力が高まることに期待 - 地域再生に期待	- 高速道路へのアクセスの向上に期待 - 企業立地や産業誘致が促進されることに期待 - 都心へのアクセス向上が経済活動の生産性をもたらすと期待	- 歩行者や自転車の安全性に不安 - 不動産価値の低減を招くのではないかと心配 - 地域経済の発展や地域活性化、労働生産性の向上に期待 - 地場産業に支障がないか懸念

千葉県総合計画の基本理念、基本目標・目指す姿に準拠

千葉県の上位計画である「千葉県総合計画」で位置づけられた基本理念、基本目標・目指す姿に準拠します。

千葉県総合計画 (R4.3.28決定)		
(基本理念) ~千葉の未来を切り開く~ 「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現 (基本目標・目指す姿)		
I 危機管理 危機管理体制の構築と安全の確保	III 医療・福祉 未来を支える医療・福祉の充実	V 共生 誰もがその人らしく生きる・分かち合える社会の実現
II 産業・社会資本 千葉経済圏の確立と社会資本の整備	IV 子ども 子どもの可能性を広げる千葉の確立	VI 自然・文化 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造



寄せられたご意見を踏まえて「達成すべき目標」を見直しました

今回のコミュニケーション活動で寄せられたご意見及び千葉県の上位計画である「千葉県総合計画」を踏まえて「達成すべき目標」を設定しました。

	交通渋滞	交通事故	医療	防災	物流・産業・観光	港湾・空港拠点アクセス性	生活環境
達成すべき目標	高速道路・幹線道路の適切な機能分担による交通混雑の緩和	高速道路への交通転換を促進し、事故発生時にも代替経路が確保される道路ネットワークの形成	交通の円滑化による医療施設への速達性や定時性の確保	災害発生時の避難・復旧を支える道路ネットワークの構築	地域経済の発展を支える産業拠点・観光拠点への速達性とアクセス性の向上	千葉港や成田・羽田空港へのアクセス性と時間信頼性の向上	生活道路事故の解消や歩行者・自転車の安全性を高める骨格道路ネットワークの形成

自然環境や経済性等、湾岸地域で「配慮すべきこと」を見直しました

「達成すべき目標」と同様に当初設定した配慮事項(案)に対し、皆様から寄せられたご意見を踏まえて湾岸地域での配慮事項等を改めて整理し、「配慮すべきこと」を設定しました。新湾岸道路の計画検討において「配慮すべきこと」として、新たに「居住環境」と「経済性」を追加しました。

当初設定した配慮事項(案)

配慮事項(案)	環境	
	自然環境・景観	海への眺望景観の保全
	豊かな自然環境の保全 (千葉県三番瀬再生計画に基づき海域をこれ以上狭めない等)	

寄せられたご意見の要旨(配慮すべきこと)

皆様から寄せられたご意見により、新たに加わった「配慮すべきこと」を整理しました。

	自然環境	景観	居住環境	経済性
ご意見の要旨	三番瀬、谷津干潟、養老川河口等自然環境や水鳥等の生息環境への影響が心配	海岸の眺望や街並みが損なわれるのではないかと懸念	- 生活への様々な環境への影響が心配 - 大気汚染が心配 - 憩いの場を与える海岸部と住宅地とのつながりは貴重 - 不動産価値の低減を招くのではないかと心配	- 維持管理の費用負担も含め、新たな税負担に繋がるのではないかと不安 - 交通問題の早期解決に期待

寄せられたご意見等を踏まえて「配慮すべきこと」を見直しました

目標と同様に当初設定した配慮事項(案)に対し、コミュニケーション活動で寄せられたご意見等を踏まえて「配慮すべきこと」を設定しました。

	自然環境	景観	居住環境	経済性
配慮すべきこと	豊かな自然環境への配慮	海辺の眺望景観の保全	居住環境(沿道環境、海とのつながりやレクリエーション等)の保全	事業費

皆様からのご意見を踏まえながら計画検討を進めます

「計画検討の進め方」についてのご意見は、「ご意見の要旨」として26項目に整理し、対応案を検討しました。

分類		寄せられたご意見の要旨	対応案
情報提供	伝え方	(1) わかりやすく理解しやすいことを期待 (2) 地域の声を代表する自治会連合会を介した対応がよい	・新湾岸道路ポータルサイトやニュースレターにおいて、計画検討の進め方や検討内容に関する分かりやすい説明を充実させて情報提供を行います
	情報内容	(3) イメージしやすい具体的な情報など、提供情報が充実されることを期待 (4) プロジェクトがどのような段階にあるのかの情報提供が必要 (5) 根拠が示されないと疑問が残る	・現在の検討状況や委員会資料などの情報を新湾岸道路ポータルサイトに公開するとともにニュースレターに分かりやすい説明を掲載して情報提供を行います ・複数案の比較評価(計画段階評価)の提示の段階において、根拠を明確にした説明や具体性のある表現を行います
	周知	(6) プロジェクトについて十分に周知されるよう、多様な方法で周知して欲しい (7) 直接大きな影響が及ぶ住民への具体的な配慮を充実する姿勢が見えず不満	・特設ホームページ、ニュースレター、オープンハウス(パネル展併用)、広報誌、SNSを通じて情報発信を行うとともに、ニュースレターを公共施設等に配架するとともに、簡易版のチラシを関係する市内の全戸に可能な範囲でポスティングを行い周知します
意見把握	発言機会	(8) 各ステップごとに何度も住民と対話することで、意見を言う機会が充実するとよい	・オープンハウスや関係者ヒアリング等を通じた対話方式での意見聴取を行い、丁寧なコミュニケーションを重ねながら検討していきます
	方法	(9) 直接的に何度も対話して意見をくみ取ってもらわないと不安 (10) 広くいろいろな立場の人から意見が反映されるとよい	・新湾岸道路有識者委員会において、寄せられたご意見が計画検討にどのように反映されたかを報告するとともに、委員会資料を新湾岸道路ポータルサイトに公開します
	反映	(11) アリバイ作りになっているのではないかと心配	・寄せられたご意見をどのように受け取ったかを新湾岸道路有識者委員会で確認し、その後委員会資料を公開します 寄せられたご意見は、新湾岸道路ポータルサイトに全ての自由意見の一覧表を公開しました
決め方	公正性	(12) 一方的な主張や意見に偏らないか心配 (13) 納得できる形での決め方に期待 (14) 都合の良い意見のみを恣意的に選ぶことがないことを期待 (15) 他の市民の全ての意見を見たい (16) 有識者委員会に地元の声が届くのか不安に思う	・複数のルートや構造案を比較評価し検討を行います 引き続き、新湾岸道路ポータルサイトで情報共有を行います
	決定のタイミング	(17) ルートなども初めから決まっているのではないかと	・計画の検討の進め方や決め方について、ニュースレターやオープンハウス(パネル展併用)で丁寧な説明を行います
	決め方の周知	(18) どのように決めるのか分からない	・複数のルートや構造案を比較評価し検討を行います 引き続き、新湾岸道路ポータルサイトで情報共有を行います
検討の進め方	複数案	(19) 様々な案を検討したい (20) 整備の優先順位を明確にして欲しい	・整備の優先順位については、概略計画決定以降の事業化時に検討していきます
	比較評価	(21) 様々な観点で比較することが重要 (22) 偏った評価になるのではないかと心配 (23) 費用や具体的な効果の他、デメリットも明確にすることが重要 (24) 評価項目の重みづけや重視するポイントを明らかにすることが重要	・複数のルートや構造案をメリット・デメリットを含め比較検討していきます 比較検討結果は有識者委員会での確認や、丁寧なコミュニケーション活動を重ねながら再度検討していきます
	体制	(25) 有識者委員には自然環境の専門家がおりず、地元の状況がしっかり理解され配慮されるのか不安 (26) 地元を理解している県や市にも主体的に関わってもらえると安心	・特定の専門分野の知見を必要とする場合は、必要に応じてその分野に係る有識者にヒアリングを行います

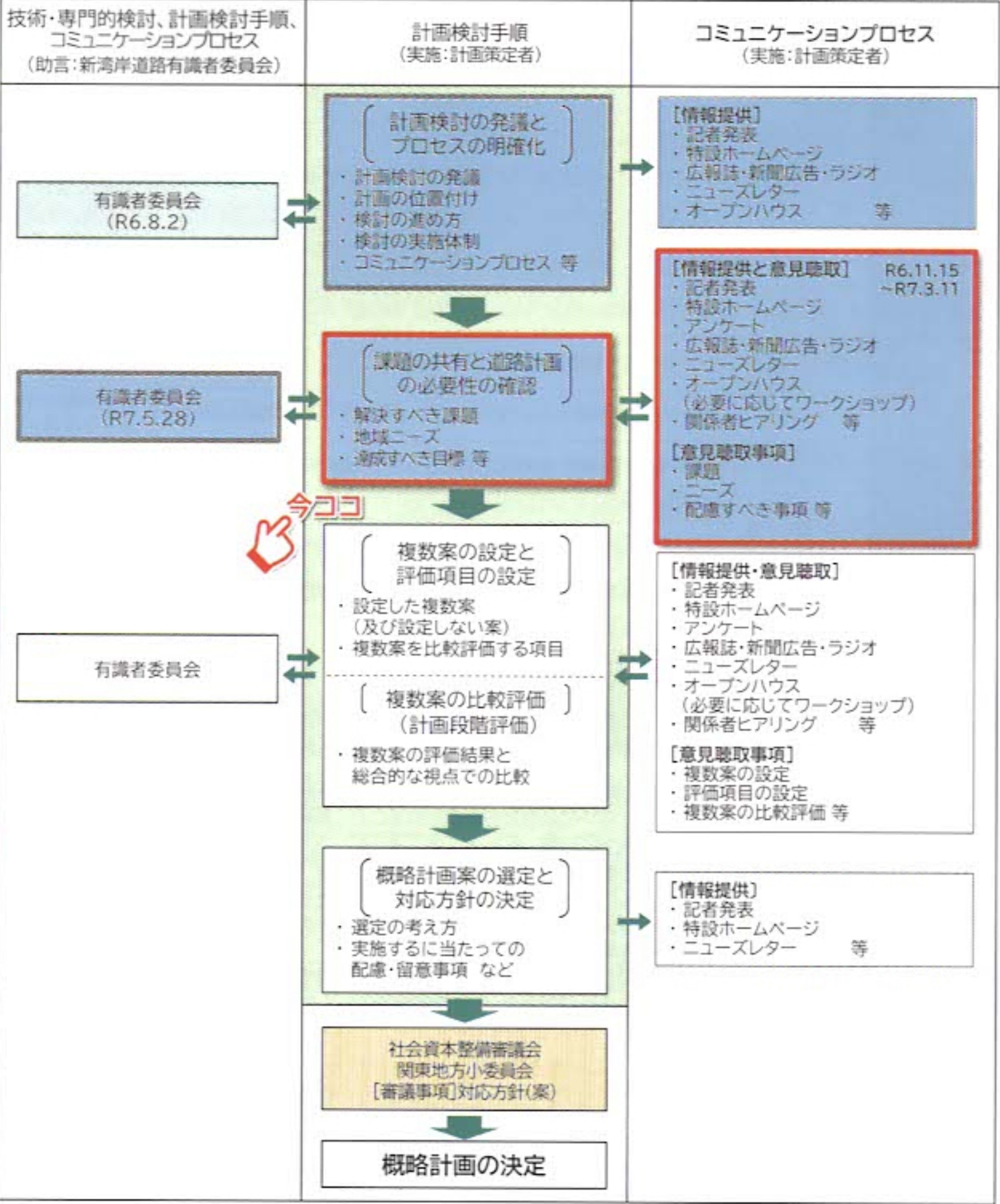
👉 計画検討の進め方に反映します

計画検討の進め方やコミュニケーション活動に対して、寄せられたご意見を反映します。

情報提供
●伝え方
・計画検討の進め方や検討内容をわかりやすく説明し、情報の充実を図ります。
●周知
・ホームページ、ニュースレター、オープンハウス等の様々な手法で引き続き情報発信するとともに、沿線の各自治会でのニュースレターの回覧、チラシ等の各戸配布を行い、周知拡大を図ります。
意見把握
●発言機会・方法
・アンケートに加え、オープンハウスや自治会を通じた対話の場の設置、地域住民とのヒアリング等を実施し、意見聴取に努めます。
決め方
●公正性
・寄せられたご意見は新湾岸道路ポータルサイトに公開するとともに、新湾岸道路有識者委員会でも確認、委員会資料としても公開します。
検討の進め方
●複数案(ルートと構造)
・複数のルート・構造案を検討するための評価項目(案)についてご意見を伺いながら検討を進めます。
●比較評価
・複数のルート・構造案の比較検討を行い、検討結果を有識者委員会で確認するとともに、丁寧なコミュニケーション活動を重ねながら検討します。
・今後、複数のルート・構造案の比較評価は、資料やデータ等に基づき客観的に示していきます。

新湾岸道路の計画検討プロセス※

必要に応じて柔軟に対応



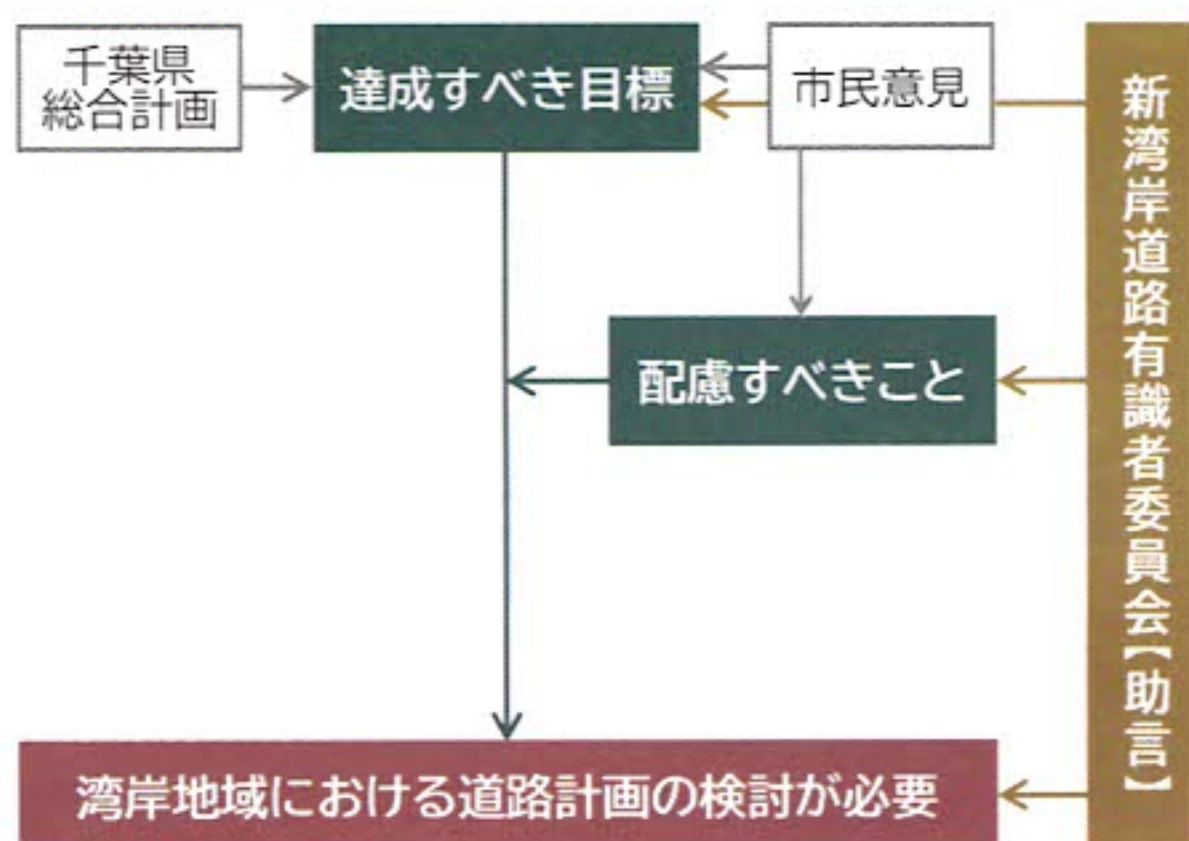
新たな道路計画の検討を地域の課題や目標を踏まえながら進めていきます

湾岸地域の渋滞への対処として例えば、TDM※等の交通量の抑制施策が考えられますが、物流等でも大きな役割を担う国道357号の交通量を勘案すると、交通量の抑制施策のみでは、物流・産業等も含めた目標の達成は困難です。

コミュニケーション活動で寄せられたご意見と千葉県総合計画を踏まえ設定した、湾岸地域における「達成すべき目標」を達成するには、新たな道路計画の検討が必要であり、新湾岸道路有識者委員会でも了承が得られています。

なお、新たな道路計画の検討にあたっては、「新たな道路を整備しない案」を比較評価のベースラインとして示します。

湾岸地域における新たな道路計画の検討においては様々な可能性を踏まえつつ、湾岸地域の自然環境や景観、居住環境、経済性にも十分に配慮しながら検討を進めていきます。



※ TDM: 交通(transportation)需要(demand)管理(management)の頭文字で、交通渋滞を緩和するための手法の中で、「車の利用者に対して、車や道路の利用方法の変更や工夫を促す手法」

第2回新湾岸道路有識者委員会では了承されました

令和7年5月28日に第2回新湾岸道路有識者委員会が開催されました。

第2回新湾岸道路有識者委員会では、オープンハウス(パネル展を中心とした情報提供)やアンケート・ヒアリング等のコミュニケーション活動の実施状況、コミュニケーション活動を通じて寄せられたご意見を「ご意見の要旨」としてとりまとめた内容と、設定した「達成すべき目標」「配慮すべきこと」「道路計画の必要性」について、ご助言をいただきました。

また、新湾岸道路の計画検討プロセスである「課題の共有と道路計画の必要性の確認」について、基本的な考え方の了承を得ました。

<有識者委員会の様子>



第2回新湾岸道路有識者委員会

「新湾岸道路有識者委員会」屋井委員長からのメッセージ

収集された全てのご意見に目を通しました。生活や企業活動にとって日々の移動が大きな問題になっていることを確認しつつも、地域の生活環境や残された自然環境に対する強い想いを改めて知ることができました。これらをいち早く公開して透明性を高めた行政の姿勢を高く評価します。

今後は、行政として必要と考える道路計画を具体的に検討する段階に入りますが、様々な可能性の比較評価や地域の想いに沿う計画案の策定に向け、引き続き透明かつ公正に進められるように委員会として注視していきます。

第2回新湾岸道路有識者委員会の資料と議事録はこちら



新湾岸道路有識者委員会とは

新湾岸道路の概略計画の検討においては、透明性、客観性、公正性、合理性が担保されることが重要です。

そこで、計画検討手順、コミュニケーションプロセス、技術・専門的検討に対して客観的な立場からの助言を行う事を目的に新湾岸道路有識者委員会を設置し、公正中立な立場から道路計画の検討の進め方やコミュニケーション活動のやり方及び技術的・専門的検討について、有識者からご助言をいただきます。

新湾岸道路ポータルサイト

https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/chiba_index080.html

新湾岸道路ポータルサイト

検索



お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所計画課

TEL:043-287-0314

受付時間: 平日9:00~17:15

新湾岸道路プロジェクトにおけるコミュニケーション活動の運営主体

国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所、千葉県県土整備部道路計画課、千葉市建設局道路部、市川市道路交通部、船橋市建設局都市計画部、習志野市都市環境部、市原市土木部、浦安市都市政策部

皆様のご意見やお考えをお聞かせください！

千葉国道事務所 メールフォーム
<https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/commu/formail.htm>

ちばこく
千葉国道事務所

